

介護職員初任者研修シラバス

科目	時間数	項目	学習内容	科目別特徴	使用する機器・備品等・指導体制
1.職務の理解	6	(1)多様なサービスの理解	・介護職員初任者研修の狙いと目標を知る ・介護保険における介護サービスの概要を知る ・介護業務の本質を理解する	どのような介護職になりたいか目標を立てる。介護サービスについてグループワークを行い、発表する。	パソコン プロジェクター マーカー 模造紙 講師1名
		(2)介護職の仕事内容や働く現場の理解			
2.介護における尊厳の保持・自立支援	9	(1)人権と尊厳を支える介護	・ノーマライゼーション、QOL、虐待について理解する ・ICFの考え方や意義を学ぶ	事例や視覚教材(DVD等)を通してICF、尊厳、不適切ケアを考え、介護や支援のあり方を考える。	パソコン プロジェクター 講師1名
		(2)自立に向けた介護	・自立と自律の違いを知る ・自立支援の意義を理解する ・介護予防について理解する	事例を通して、どのような支援方法が自立につながるのか学ぶ。	パソコン プロジェクター 講師1名
3.介護の基本	6	(1)介護職の役割、専門性と多職種との連携	・介護サービスの3種類の内容や特性を理解する ・介護に関わる職種と役割を理解する ・医療と介護の連携について知る ・身体介護・生活援助・生活支援について理解する	介護サービスに関わる専門職を考え、多職種連携について学ぶ。	パソコン プロジェクター マーカー 模造紙 手袋 講師1名
		(2)介護職の職業倫理	・介護職としての職業倫理を理解する	事例を通して、専門職の倫理・対応方法に関して学ぶ。	
		(3)介護における安全の確保とリスクマネジメント	・介護サービスにおける事故の理解 ・リスクマネジメント・感染に対する基本を理解する	事故はなぜ起こるのか要因を考え、KYTトレーニングを行う。	
		(4)介護職の安全	・腰痛予防の意義と方法を理解する ・労働基準法を知る	感染症対策を踏まえ、手洗いや手袋の着脱方法を行う。健康管理について考え、グループワークを行い、発表する。	
4.介護・福祉サービスの理解と医療との連携	9	(1)介護保険制度	・介護保険制度の歴史と意義を理解する ・介護保険のしくみを理解する ・ケアマネジメントの意義を理解する	制度の目的、サービス利用の流れ、各専門職の役割・責務について学ぶ。	パソコン プロジェクター 講師1名
		(2)医療との連携とリハビリテーション	・リハビリテーションの理念と目的を知る ・医療と介護の連携について知る ・医行為と介護、訪問介護について		
		(3)障害者自立支援制度及びその他制度	・障害者福祉制度の理念を知る ・障害者自立支援制度の仕組みの基礎的理解をする ・個人の権利を守る制度の概要を知る		
5.介護におけるコミュニケーション技術	6	(1)介護におけるコミュニケーション	・コミュニケーションの目的と意義を理解する ・利用者の状況に応じたコミュニケーション技術を習得する(失語症、視覚障がい者、聴覚障がい者、認知症)	受容・共感・傾聴などのロールプレイを行い、利用者の思いを考えるコミュニケーションについて学ぶ。	パソコン プロジェクター 講師1名
		(2)介護におけるチームのコミュニケーション	・報告、連絡、相談の意義と方法を知る ・記録の重要性の理解と方法を知る	記録方法(5W1H)をワークにて行う。	

6.老化の理解	6	(1) 老化に伴うところとからだの変化と日常	・老化に伴う心身の変化の特徴を理解する	加齢に伴い変化する心身状態について考え、グループワークを行い発表する。	パソコン プロジェクター 人体模型
		(2) 高齢者と健康	・高齢者の疾病を理解する ・高齢者の症状のチェックポイントを理解する ・生活習慣病と予防の重要性を理解する ・メタボリックシンドロームとロコモティブシンドロームを理解する	高齢者に多い疾患について考え、日常生活の留意点などグループワークを行い発表する。	講師1名
7.認知症の理解	6	(1) 認知症を取り巻く状況	・パーソン・センタード・ケアの視点を理解する	認知症を理解することの必要性に気づき、症状や対応方法などを学ぶ。	パソコン プロジェクター
		(2) 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	・中核症状とBPSDを理解し、対応を学ぶ		
		(3) 認知症に伴うところとからだの変化と日常	・認知症の人の気持ちを理解する ・認知症利用者への様々な対応方法を学ぶ(ユマニチュード等)		
		(4) 家族への支援	・認知症家族の介護者の現状を知る ・介護者の心理のステップを理解する ・介護者への支援について学ぶ		
8.障害の理解	3	(1) 障害の基礎的理解	・障害の概要とICFを理解する ・障害者福祉の基本理念	障害の概念とICF、障害者福祉の基本的な考え方や、障害の特性について学ぶ。	パソコン プロジェクター
		(2) 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかり支援等の基礎的知識	・身体障害、知的障害、精神障害、その他の心身の機能障害の特性を知る		
		(3) 家族の心理、かかり支援の理解	・家族への支援について学ぶ		
9.ところとからだのしくみと生活支援技術	75	(1) 介護の基本的な考え方	・理念に基づく介護(ICFの視点に基づく生活支援、我流支援の排除)を学ぶ ・法的根拠に基づく介護を知る	事例を通して、ICFの理解を深め、できる活動について考え、グループワークを行う。	パソコン プロジェクター 講師1名
		(2) 介護に関するところのしくみの基礎的理解	・学習と記憶の基礎知識を学ぶ ・感情と意欲の基礎知識を学ぶ ・自己概念と生きがい ・老化や障害を受け入れる適応行動とその阻害要因 ・ところの持ち方が行動に与える影響を知る ・からだの影響がところに与える影響を知る	五感の変化、記憶の変化について学ぶ。	パソコン プロジェクター 講師1名または2名
		(3) 介護に関するからだのしくみの基礎的理解	・人体の各部の名称と動きに関する基礎知識を学ぶ ・骨・関節・筋に関する基礎知識、ボディメカニクスの活用 ・中枢神経系と体性神経に関する基礎知識を学ぶ ・自律神経と内部気管に関する基礎知識を学ぶ ・ところとからだを一体的に捉える ・利用者の様子の普段との違いに気づく視点をもつ	寝返り、起き上がり、立ち上がり動作等を体験し、人体の動きについて理解する。 ボディメカニクスを活用した介護者の身体の動きを体験し、介護を行う際の必要性を考える。	パソコン プロジェクター 骨格模型 講師1名または2名
		(4) 生活と家事	・家事と生活の理解、家事援助に関する基礎的知識と生活支援・生活援助について理解する	事例を通して、生活支援(家事援助)について考え、グループワークを行う。	パソコン プロジェクター 講師1名

9.こころとからだのしくみと生活支援技術	75	(12)死に行く人に関連したこころとからだのしくみと終末期介護	・終末期に関する基礎知識とこころとからだのしくみ、生から死への過程、「死」に向き合うこころの理解、苦痛の少ない死への支援を学ぶ	終末期の症状、ターミナルケア時の利用者や家族への対応、役割などを学ぶ。	パソコン プロジェクター 講師1名または2名
		(13)介護過程の基礎的理解	・介護過程の目的・意義・展開 ・介護過程とチームアプローチ	介護過程の展開をグループワークで行い、介護過程の必要性について理解を深める。	パソコン プロジェクター 模造紙 マーカー 講師1名または2名
		(14)総合生活支援技術演習	・生活の各場面での介護について、ある状態像の利用者を想定し、一連の生活支援を提供する流れの理解と技術の習得、利用者の心身の状況にあわせた介護を提供する視点の習得を目指す	[演習] 事例を元に、グループワークにて介護計画を立案・計画に基づく援助について理解を深める。 個々に応じた適切な援助方法について演習・評価を行う。	パソコン プロジェクター ベッド、シーツ 車椅子 講師1名または2名
10.振り返り	4	(1)振り返り	・研修を通して学んだことについての再確認 ・今後継続して学ぶべきこと ・根拠に基づく介護についての要点(利用者の状態像に応じた介護と介護過程、身体・心理・社会面を総合的に理解するための知識の重要性、チームアプローチの重要性等)	研修全体を振り返り、当初のイメージや目標を再確認する。	パソコン プロジェクター 講師1名
		(2)就業への備えと研修修了後における継続的な研修	・継続的に学ぶべきこと ・研修修了後における継続的な研修について、具体的にイメージできるような事業所等における実例を知る(Off-JT, OJT)		
	1	修了評価	筆記試験実施(1時間)	70点以上を合格とし、不合格者には再試験実施	研修センター